

アイデア提案書

提案番号	No.21-1-8		
提出年月日	令和 3 年 1 1 月 4 日	受付年月日	令和 3 年 1 1 月 4 日
所 属		職名・氏名	
提案件名	伝統産業会館（伊部駅）3階・総合研修室を学生向けに開放		
提案の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input checked="" type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input checked="" type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	備前焼振興課 教育委員会所管課など		
現状及び問題点	<p>2015年国勢調査によると、備前市在住の15歳以上の通学者1,542人のうち、備前市内への通学者は420人（27.2%）に対し、県内他市町村への通学者は974人（63.2%）、その内訳は、岡山市722人（46.8%）、瀬戸内95人（6.2%）、和気町69人（4.5%）などとなっており、瀬戸内市、岡山市方面への通学者が全体の半数以上を占めている。また、卒業後も多くが市外や県外へ進学、就職しており、地域や同級生とのつながりが希薄となった若者が次々に転出し、それ以降故郷に戻らないという繰り返しが市の人口減少に拍車をかけていると推察される。</p>		
提案の内容	<p>学生を対象としたワークショップやアンケートでは市内に若者の集う場が少ないという声が多数挙げられている。先般、伊部駅南口に中高生を対象とした交流スペースが誕生したが、これとは別に主に片上、伊里、日生など伊部より東の地域から赤穂線を利用する学生をターゲットに伊部駅3階の総合研修室を開放し、机やいすを置いて下校時に立ち寄って同級生との会話や自習ができるスペースを提供する。（JRの定期券は、区間内であれば自由に何度でも途中下車、乗車ができる。）</p> <p>施設管理は現在の指定管理者との協議が必要になるが、直営の場合は地元への管理委託も検討する。</p>		
期待される効果	<p>違う高校へ通うことになった学生同士が下校時に集うことができる、あるいはさまざまな事情を持つ学生が勉強や読書、息抜きのスペースとして利用するなど、電車の発車時刻（ぎりぎり）までそれぞれの時間を過ごすことができる。指定管理のモニタリング結果によると、令和2年度の伝統産業会館の年間利用料収入は約19万円と利用が低迷しており、総合研修室を開放することで公共スペースの有効活用が図られるとともに、駅及びその周辺の活性化につながる効果が期待される。</p>		

担当課意見

【備前焼振興課】

備前焼伝統産業会館は、現在、備前焼陶友会に施設の指定管理をお願いしています。ご提案のありました3階総合研修室は、備前焼陶友会の会員やロータリークラブなどが会議として利用しています。施設使用料も3時間で13,750円掛かることから若者が自由に使える場所として開放するには非常に難しい状況です（ご提案内容での減免も難しいと思われます）。また、伝統産業会館の3階には常駐管理人が不在のため、使用の管理が行き届きません。

つきましては、伊部には「伊部つながり西休憩所」が無料で利用することができますので、そちらを交流の場としてご活用していただければと思います。

【社会教育課】

ご提案ありがとうございます。昨今、備前市に限らず全国的に学校と家庭以外に「居場所」がない中高生の現状が問題視され、行政や地域が連携して「居場所」を作ることが注目されています。社会教育課としても伊部駅の総合研修室を開放し、自習設置や同級生との交流の場を提供することは、仲間意識や需要意識の確認、地域とつながる機会の創出などが期待され、若者の心の回復や成長、地域への参画の機会の創出に非常に重要であると考えます。

現在社会教育課は、教育協力隊出身のf.saloonが主体となって運営している伊部駅南口に中高生を対象とした放課後スペース「I N B a s e」を積極的に応援しています。参加者や運営ボランティアの中には、提案者が想定している日生や片上の高校生もいるため、類似事業を市主催で行うよりは、南口の放課後スペースと一体で運営を行う方が効果的であると考え、f.saloonとの協議が必要だと考えます。

また、高校生が自習室等で利用する場合、利用ニーズは夕方以降になると推察します。そのため、伝統産業会館閉館後（18:00以降）も利用できることが大切であると考えます。